

大学・高専機能強化支援事業
(学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)【支援1】
事業概要

令和5年7月時点

1.基本情報

選定年度	令和5年度	学校コード	F116210105329
大学名	富山県立大学	設置区分	公立
学校種	大学	都道府県	富山県
大学全体の総収容定員数	1,910 名 ※令和5年5月1日時点		
学部学科 組織構成	工学部（機械システム工学科、知能ロボット工学科、電気電子工学科、情報システム工学科、環境・社会基盤工学科、生物工学科、医薬品工学科）、看護学部（看護学科）		

2.事業概要

産業界を含む社会のデジタル人材ニーズの増大に対応するため、入学定員160名、収容定員640名からなる情報工学部を令和6年度に開設予定である。情報工学部には、データサイエンス学科、情報システム工学科、知能ロボット工学科の3学科を設置し、情報を軸に、機械・電子などの工学の専門知識、データサイエンス理論の素養を併せ持つ情報工学専門人材の育成を目指す。 データサイエンス学科では 数理・データサイエンスに特化したカリキュラム を編成し、他の2学科においては情報システム、知能ロボットに加えて データサイエンスに関する複数の専門科目 を配置する。さらに、3学科共通の必修科目として 県機電工業会との連携授業 や デザイン思考 （潜在的課題を顕在化させ、仮説・検証を繰り返し試行することで解決策を発見しようとする思考法）の授業を配置し、地域や産業の現場に応用できる力を育むカリキュラム編成とした。こうした教育の実現に向けて、専任教員を増強し 少人数によるゆきとどいた教育体制 を構築していく。併せて、収容定員増や専任教員の増、新たな教育研究分野に対応した環境整備に加え、 デジタル・グリーンなどの成長分野に係る共同研究を推進 するため、新学部棟の整備計画を進める。
--

3.本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和6年度	※既に申請・届出している場合はその年度を記入				
認可申請・届出予定	令和5年度					
改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	情報工学部					
設置等組織の学位分野	工学関係					
当該学部等の所在地	富山県射水市					
入学定員	160 名					
収容定員	640 名					
入学定員の増加数	160 名					
他学部等の入学定員の減少数	140 名					

※学部・学科を新設する計画である場合は、当該学部等の所在地欄は予定所在地を記入。

※入学定員には編入学定員を含む。

<基本情報>

改組予定年度：令和6年度
改組内容：学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
設置等組織名：情報工学部
入学定員：【R6新設】160名
所在地：富山県射水市

富山県成長戦略「新産業戦略」

企業における生産性の向上、商品・サービスの
高付加価値化に向けたDXを推進
⇒担い手となるデジタル人材の育成が課題

データサイエンス人材育成に係る有識者会議

新学部設置を念頭に、①育てるべき人材像、②
教育組織の方向性、③入学定員、④教育課程の
方向性、⑤学修環境の充実などについて協議
（構成員：県経営者協会、県機電工業会、東京
大学教授、本学学長など）

<提言内容>

- 数理・データサイエンスの専門教育を行う
学部学科を新設し、これと関連深い分野の
工学部の学科を再編し、情報を軸とする一
体的な教育組織とすべき
- 数理・データサイエンスの力を着実に身に
つけ、これに現場の課題を解決する力を兼
ね備えられる教育課程を構築すべき

県内外企業採用意向アンケート

県内外502社を対象とした調査の結果、情報工
学部各学科卒業者の採用意向人数の計は各学科
の入学定員の約4～5倍
⇒養成する人材への社会的、地域的ニーズ高い

県内高校生進学意向アンケート

全日制高校44校中18校を対象とした抽出調査に
おいて、情報工学部各学科へ「入学意向あり」
と回答した生徒数は各学科の入学定員の3～5倍
⇒十分な学生確保の見通しを備えている

情報工学部

データサイエンス学科
情報システム工学科
知能ロボット工学科

「情報」を軸とする工学の専門知識と、データサイエンスの専門知識を兼ね備え、現代社会が抱える課題を認識し、より良い解決策を見出す能力と意思を持った人材を育成

入学者選抜

理系を重視した基礎学力に加え、それらの知識を活用した論理的な思考力・判断力・表現力を総合的に評価し、大学での学修に必要な資質・能力等を的確に評価

教育の特色

- データサイエンスの専門教育
情報を軸に、機械・電子などの工学の専門知識、データサイエンス理論の素養を併せ持つ情報工学専門人材を育成
- 少人数教育
少人数によるゆきとどいた教育体制を構築
- デザイン思考による課題発見解決力
課題解決方法としての「デザイン思考」の授業により、産業界や社会が抱える潜在的課題を認識し、より良い解決策を見出す能力を育成
- 企業の技術者との連携授業
教員自身の実務経験を活かした実践的な教育や、**企業等で活躍している技術者、研究者を招聘する特別講義**の実施
- 人間性豊かな技術者の育成につながるカリキュラム編成
本学教養教育センターの専任教員が担当する豊富な教養科目のカリキュラム編成により、人間性豊かな人材を育成
- 学生の自立を促すキャリア教育
本学キャリアセンターが提供する各種キャリア形成のためのプログラムにより、学生が生涯にわたるキャリア形成について主体的に考え行動できる能力を育成

他機関との連携

- ものづくり産業の最新の研究・技術動向の理解などを目標に、企業で活躍している研究者や技術者を講師として招聘
- 学外の著名な学者や注目されている分野で活躍中の研究者など、他大学教員や各種研究機関の研究者、企業人を招聘した特定のテーマに関する授業を展開
- キャリア教育事業の企業と連携し、学生の生涯にわたるキャリア形成能力を育成

多様な入学者の確保 地域の初等中等教育段階の学校との連携

- 県内外の高校に本学教員が出向き講義を行う「**サテライトキャンパス**」や、高校生が大学で講義や実験などを体験する「**科学技術体験講座**」を実施
- 県内高校が取組む科学探求講座や課題研究などの実施**への協力

教育研究環境の整備

収容定員増や専任教員の増、新たな教育研究分野に対応した環境整備に加え、デジタル・グリーン等の成長分野に係る共同研究を推進するための新学部棟の整備

外部資金の獲得

- 大学全体の外部資金獲得額を、従来の実績平均に支援額の2.5%を上乗せした水準以上とすることを目指し、情報工学分野の研究を推進
- 一層の機会創出に向け、学内のシーズ発掘や産業界のニーズ把握、産学官の共同研究等の促進、公募情報の収集及び学内への周知、申請書類作成等にかかる事務的支援などを実施

新学部棟 完成予定図

